

[参考資料 2]

ゴム輪受口寸法の設計

ボディーV管およびフリーアクセスV管のゴム輪受口の設計は以下の通りとする。

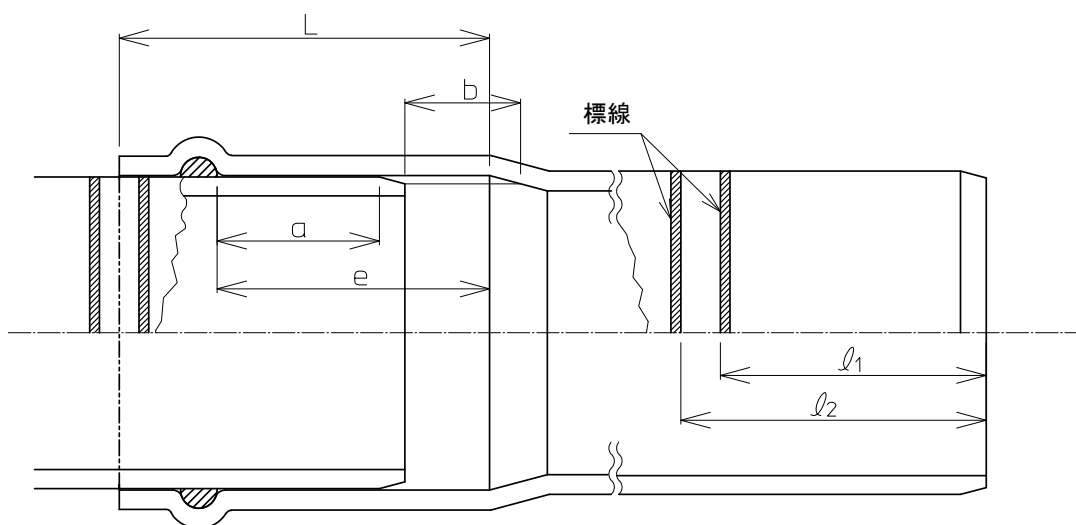


図 1 ゴム輪受口寸法

(考え方)

- 1) 伸縮しろ長さは、地震時のひずみ量を 1/100 とした。
- 2) ゴム輪受口部の伸縮しろ長さは、管の引き抜き及び圧縮を考慮した。

単位:mm

管種	引抜き側 伸縮量 a (最小)	圧縮側 伸縮量 b (最小)	有効 挿入長さ e (最小)	受口長さ L (最大)	標線長さ	
					λ_1 (最小)	λ_2 (最大)
フリーアクセスV管 $\phi 150$	50	50	120	225	155	175
ボディーV管 $\phi 200$	50	50	126	250	180	200
ボディーV管 $\phi 250$	50	50	132	270	200	220

注 : ひずみ量 1/100 (管長 5 m の場合 50 mm) を満足する受口構造である。